



ロータリー:
変化をもたらす

相模原大野ロータリークラブ

◆会 長: 笠井 透 ◆幹 事: 角尾 彰央 ◆会長エレクト: 座間 勇
◆S A A: 布野 一喬 ◆会報委員: 宮崎雄一郎 ◆URL: <http://www.s-oono-rc.jp>
◆事 務 局: 〒252-0238 相模原市中央区星が丘 3-5-16 ◆TEL/FAX: 042(755)0901
◆例 会 場: 相模原ゴルフクラブ 〒252-0331 相模原市南区大野台 4-30-1
◆例 会 日: 毎週水曜日 12:30~13:30 ◆E-mail: oono-rc@mx1.alpha-web.ne.jp

平成 30 年 3 月 14 日 第 1169 回例会

会長の時間: 笠井透

今月は「水と衛生月間」ですが、皆さんは“恐水症 (hydrophobia)”という病気をご存知ですか。恐水病・狂犬病とも言われ、脳神経を冒されることで、もの凄く過敏になります。実際は、水に限らず、音や風も水と同様に感覚器に刺激を与えて痙攣等を起こします。水を飲もうとすると、その刺激で咽喉頭や全身の痙攣が起こり、嚥下困難や呼吸困難などの恐水発作の苦痛で水が飲めない事から“恐水症”と呼ばれています。狂犬病は犬だけでなく、猫など他の動物（恒温動物全般）も感染しますが、日本では昭和 33 年を最後に、犬から感染した例は無く、狂犬病も終焉となっています。最近の若い獣医師は経験したことが無く、分からない方が多いようですが、実際には日本でも発症例があります。海外旅行先で犬に咬まれ、帰国後に命を落とすこととなります。致死率が高いので、発症するとほぼ 100%死亡しますが、人では感染後（感染動物に咬まれた後）にワクチンを連続して接種することにより発症を防ぐことができます。発症しない人もいますが、外国へ行ったら、動物には接触しない方が賢明です。特に子どもは「可愛い」と言って触りたがりますが、子どもは大人より発症率が高いので気を付けなければなりません。ペット業者が動物を輸入する際、犬に関しては、日本では狂犬病予防法があるので、検疫を通らないと入れません。アライグマは一時流行った事がありますが、野生（野獣）ですから怖いのです。大きくなって飼えなくなり、あちこちの山に捨ててしまい、繁殖しています。獣医師の立場で言えば、法整備の遅れが気になります。極端に言えば、生き物を移動すること自体が間違いなのです。絶滅危惧種の保護等しっかりと管理されている動物園は別ですが、間違っただけでしていると思う事もあります。本来、自然の中で生息しているものを、人間のエゴで乱獲したり、森林伐採で生息域を壊したり、保護が必要となり罪滅ぼしとしてやっているのだと思います。

狂犬病の清浄国は日本の他、ニュージーランドやオーストラリア等数か国（地域）で、アメリカなどは吸血蝙蝠もいます。人から人への感染は無いので、そこは安心して良いと思います。イングランドは 2~30 年前に一度入り、大騒ぎになったことがあります。免疫が出来ていたので直ぐに収まりました。フィリピンでは、街中の犬を殺処分して穴に埋めるという事をしていました。狂犬病は 150 以上の国（地域）で発生し、毎年 6 万人以上が亡くなり、主にアジアとアフリカで発生しています。相手が動物なので、簡単に手が出せないという難しさがあります。私の先輩に、咬まれた経験のある方がいます。助かっても下半身麻痺等、重い後遺症が残ります。事が起これば前線に立つのは我々獣医師ですから、恐怖を覚えます。海外では日常的で、何処から入って来るか分かりません。特に怖いと思うのは、検疫無しで入る動物、船やコンテナに隠れて入る場合もあります。私も 40 年程前、研究機関でウイルス保持のため、人工的に発症させた犬を見た事がありますが、かなり衝撃的でした。日本は平和で安全な国ですから、過剰に恐れることはありませんが、海外では注意した方が良いでしょう。

幹事報告: 角尾彰央

例会変更 ※ビジター受付＝クラブ事務局 ※受付無

3/15 (木) 津久井中央

3/16 (金) 津久井

3/19 (月) 相模原東※

3/20 (火) 大和

3/22 (木) 相模原※ 津久井中央 相模原橋本

3/23 (金) 津久井 相模原グリーン※

3/26 (月) 相模原柴胡※ ビジター&ゲスト

3/27 (火) 相模原中※ 竹内 健 様

《理事会報告》

(相模原 RC)



- * 台湾東部地震義援金－1 人 500 円以上をお願いする
- * 創立 25 周年記念事業－音楽基金・相模女子大車椅子
- * 新会員候補者の件(森崇彦氏/宮崎会員推薦)異議なし

第5グループ1・M
3/24(土)13:30 点鐘
 於: ラポール千寿閣

地区研修・協議会 4/8(日)
10:30 JR 町田駅改札集合

週報受領 相模原柴胡

その他来信 ハイライトよねやま

委員会報告 座間勇 会員



- ・「ふるさとコンサート」パンフレット配布:3/24(土)
- ・地区補助金申請〆切は今月末。申請書作成協力をお願い
- ・3/28(水) 青少年交換・ボトンド君歓迎会

出席者会費:8,000円/欠席者:2,000円をお願い

卓話:水と衛生月間に因んで 角尾彰央 会員

ロータリーの重点分野は6つ(平和と紛争予防/紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展)あり、グローバル補助金は少なくとも1つに該当し、持続可能かつ大規模な活動を実施出来ます。活動のモニタリングと評価を行うことが義務づけられ、各重点分野について財団が定めた方針に基づく計画を申請時に立てる必要があります。My Rotary でグローバル補助金の実施例を見る事が出来ますが、水に関しての掲載はありませんでした。現実的には、水の濾過機の提供や井戸掘り等です。相模原橋本 RC では、ホンジュラスで医療機器関連のプロジェクトを行いました。これは「疾病予防と治療」の分野です。重点分野には①R 財団は、補助金手続きの効率及び補助金によるプロジェクトの質を高める事を目指しています。②各方針の内容は、補助金の受領資格の有無を示しています。③受領資格の範囲内にある活動は、RC と地区がこれまで最も頻繁に実施してきた活動内容を反映したものとなっています。④プロジェクト計画は、ボトムアップ式に、提唱クラブ・提唱地区が主導して行うものです。⑤補助金の全申請は、各重点分野の基本方針に沿ってなければなりません。という基本方針があり、それに基づいて行われています。ロータリーにはニーズが重要です。ユニセフでは「子ども達が生きていく上で、水と衛生は大きな問題です。汚れた水や不衛生な環境は、感染症を引き起こし幼い子ども達の中には、下痢等で命を落としてしまう事も少なくありません。」と言っています。ロータリーのデータでは、毎日 1,400 人の子どもが命を落とし、衛生的なトイレや水設備が利用できない人が 25 億人いるそうです。実際に井戸を設置したり、雨水を溜めて飲用にしたり、家庭で

出席報告 安全な水を得る為の浄水フィルター

会員数	免除者	出席者	欠席者	他 RC メイク	その他 R 活動	本日の出席率	修正出席率
13名	1名	9名	3名	0名	3名	75.00 %	2/28 50.00 %

を提供したり、低コストの解決策を提供する事で、綺麗な飲み水を利用できない7億4,800人に対するロータリーの実践ではないかと思えます。また、石鹸作りや石鹸を使った正しい手洗いを子ども達に指導することで、衛生習慣を推進することが出来ます。2015年時点で、世界では21億人が安全に管理された飲用水を使用できていません。この内1億5,900万人は、湖や河川、用水路等の未処理の地表水を使用しています。SDGs「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」は、前身であるMDGs(ミレニアム開発目標)を継承し、2015年9月の国連サミットで採択されましたが、改善水源・未改善水源・地表水の3つをより効率的に分けています。改善水源を更に3つに分類して、安全に管理された飲用水・基本的な飲用水・限定的な飲用水とし、更に改善を進めるという新しい考え方です。それに基づいているのがユニセフの水に対する取り組みです。ロータリーでは、安全な飲用水と基本的な衛生設備を提供するための活動(人道的プロジェクト・奨学金・職業研修チーム)と研修を支援します。目的と目標は以下の通りです。①地域社会に於ける安全な水の公平な提供、衛生設備や衛生状況の改善。②持続可能な水設備と衛生設備設置、資金調達、維持管理を地域社会が自ら行っていくための能力向上。③安全な水と衛生の重要性について、地域社会の人々の認識を高めるためのプログラム支援。④水と衛生に関連した仕事で活躍していく事を目指す専門職業人のための奨学金支援。日本の井戸掘りの知識や技術は優秀だそうですので、貢献出来ると思えます。何れ、グローバル補助金にも挑戦したいですね。

スマイル報告 今年度累計 ¥241,000

藤井啓三 会員 今日花粉が酷く、皆さんも帰りの運転は気を付けて下さい。

宮崎雄一郎 会員 新しい会員が入りそうです。皆で気持ちよく迎えられたらと思っています。相模原 RC の竹内様、ようこそお出で下さいました。

角尾彰央 会員 結婚記念日のお祝い、有難うございます。1984年3月1日です。最初は乙女で今では太目の女房と34年になりました。これからも愛し続けます。相模原 RC の竹内様、毎度おおきに！もうすぐ当クラブの名簿に入りますので宜しくお願いします。